

2020年度補正予算の成立を受け、金融機関は一律10万円の現金給付や実質無利子の融資といった個人・企業向けの対応に入る。申請書類の記入ミスや問い合わせが急増することも予想され、銀行側は支店応援の行員を増やすなど実務に漏れがないよう腐心する。

給付金は国から市区町村にわたり、自治体の公金収納業務を代行する指定金融機関（指定金）が受取人へ振り込む。原則として各家庭の世帯主が指定した銀行口座に、世帯全員分の給付金を一括で振り込む流れだ。

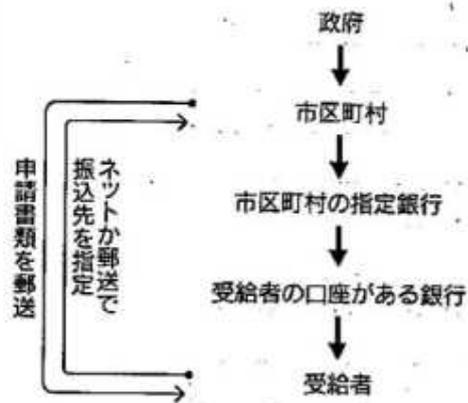
まず自治体から家庭に申請書を送付する。各個人はそれに振込先の口座番号を記入し、運転免許証など本人確認書類のコピーを貼り付けて返送する。マイナンバーカードを持っていればネット申請も可能だが、大半は手書きによる郵送になるとみられる。

給付金の振込件数は6千万件弱になるとみられている。ちょうど1年前

経済対策が始動、無利子融資も

10万円給付 身構える銀行

10万円給付の仕組み  
→ お金の流れ



の5月、銀行同士の取引で約1億件の振り込みがあった。そこに給付金の手続きが加われば事務処理は膨大になる。

銀行側が警戒するのは、口座番号の記入ミスなどでお金が戻る「組み戻し」の急増だ。08年のリーマン危機後、当時の麻生政権が定額給付金として1万2千円を配った時は、全件数の1〜2%程度で組み戻しが発生した。今回に当っては約90万件起きる計算だ。組み戻しが生じると、

自治体が改めて個人に口座番号を尋ね直す必要が生じる。銀行が問い合わせに追われるような状況になれば、作業は遅れ、お金の受け取りもさらに遅れ込む。大手行幹部は「事務が崩壊しかねない」と不安を募らせる。指定金を受ける自治体の世帯数では、みずほ銀行と三菱UFJ銀行が各10%程度のシェアを持つ。以下、横浜銀行や埼玉りそな銀行、千葉銀行、信用金庫といった地域金融機関が続く。

書類ミス警戒、現場手厚く

5月には民間金融機関でも自治体の制度融資を人規模で店舗に派遣して使った実質無利子での融資制度が始まる。銀行側は営業の最前線となる支店の支援に力を注ぐ。三菱UFJ銀は本部で働く約170人を店舗や事務センターに異動させる人。西日本シティ銀行は客に要請している。

雇用調整助成金「罰則の壁」なくす

雇用調整助成金をめぐり、社会保険労務士が中小企業の支援に二の足を踏んでいた申請の壁がなくなる。厚生労働省は法定書類が整わない中小企業を社労士が支援して不正が発覚しても、故意でなければ罰則を科さない特例措置を講じたためだ。同省が30日、全国の労働局に方針を伝えた。中小企業が社労士の助けを借りて申請しやすくなる可能性が高い。

社労士がでている」と明かす。申請が不正と認定された場合、企業の助成金の債務を社労士が全て負うなど厳しい罰則がある。社労士の不正が相次ぎ発覚したために導入したが、今回の緊急時に真面目な社労士まで縛ってしまう恐れがあった。社労士からは「不正をする社労士は1%もない。期間限定でも不正対策を停止してほしい」との声が出ていた。今後は支援に動く社労士が増えそうだ。雇用調整助成金は申請・支給の件数が増えず、批判が集まる。厚生労働省は書類の簡素化などを打ち出した。オンライン申請は5月にも認める。社労士の連帯責任も課題として与野党からも改善を求める声が出始めた。

社労士、中小支援しやすく 厚労省

# 緊急事態 長期化に備え

政府が緊急事態宣言を1カ月程度延長する方針を固めたことで、企業からは地方自治体からの休業要請の長期化に備える動きが出た。東武百貨店が休業延長を決めたほか、イオンモールのテナントの休業を継続する。一方、一部の製造業で一時休業を見直す動きもある。新型コロナウイルス感染症拡大の収束に向

## 三越伊勢丹 休業延長の方針

## 東芝 稼働再開へ調整

緊急事態宣言の延長方針をうけた企業の動き

**イオン**  
「イオンモール」全国142施設のテナント部分の休業を継続へ

**東武百貨店**  
店舗の臨時休業の期間について「6日まで」から「当面の間」に変更

**東映**  
緊急事態宣言が解除されるまで休業継続

**敬河台学園**  
1学期の授業をすべて映像授業配信に切り替え。質問はオンラインで講師にできるように

**三菱重工業**  
6日までを予定していた在宅勤務を7～8日までに延長。正式発表後にさらなる延長を検討

**パナソニック**  
在宅勤務は6日までとしていたが、連休中で周知が難しいのでひとまず10日まで延期。正式決定の後、7～8日に対応を周知する



臨時休業する三越伊勢丹本店（20日、東京都中央区）

「緊急事態宣言はおそろしく延長する、と思いがく判断を待っている」とし、延長後は改めて外出自粛や休業を呼びかける意向を示した。政治や行政で緊急事態宣言の延長

「緊急事態宣言はおそろしく延長する、と思いがく判断を待っている」とし、延長後は改めて外出自粛や休業を呼びかける意向を示した。政治や行政で緊急事態宣言の延長

「緊急事態宣言はおそろしく延長する、と思いがく判断を待っている」とし、延長後は改めて外出自粛や休業を呼びかける意向を示した。政治や行政で緊急事態宣言の延長

## 国の財政支援策必要

元総務相・片山善博氏 全国すべての都道府県を対象に延長するのは妥当な判断だ。北海道や沖縄などは都市部からの人の移動に困っている。部分的に解除すれば、移動を誘発する恐れがある。期間延長が必要になったのは現状の対策が不十分だからだ。なぜ効果が出ないのか。入山の移動を制限するなど追加策も必要ではないか。休業要請の延長に伴い地方自治体が配る努力金の増額も当然議論が出てくる。自治体の財政力によって差が生じる可能性もある。国は交付金を出すだけでなく、例えば協力金の一部を国が補助するなどの財政支援策を示さなければならぬ。

## 倒産・失業増 阻止を

大正大教授・小峰隆夫氏 緊急事態宣言が延長されれば、外出自粛や休業による業績不振を理由に企業の倒産や事業閉鎖が当然増える。これまでもともと経営が苦しい企業で、新型コロナウイルスが最後のタン押しになった倒産事例もあった。今後はより直接的な事例が出てくる。従来は景気低迷時には消費喚起策が常とつ手段だったが、今回は難しい。国内総生産（GDP）は4～6月期にリマン危機時よりも大きな下げ幅になるだろう。大事なのは7～9月以降にV字回復で起る。今のマイナスを一時的なものにとどめる意識だ。倒産や事業閉鎖、失業率の増加を防ぐことに集中すべきだ。

加ベースが鈍化している。一方、感染第2波に見舞われる北海道は30日に41人を記録した。30日に全国知事会が政府に新型コロナウイルスに関する緊急提言を提出。延長する場合は他県からの人の流入を防ぐため全都道府県を対象とすることを求められそうだった。

イオンは全国142カ所のショッピングセンター「イオンモール」でテナント部分を休業する現在の対応を継続させる。一部店舗では休業期限を「5月6日まで」と明示していたが、「実際に営業再開が延長になれば営業再開は難しいだろう」（同社幹部）として休業を延長する方針だ。東武百貨店は「5月6日まで」と検討する」とした。5月6日までの一時休業を決めた東芝は7日以降は稼働再開を目指す。

東武百貨店では30日の新規感染者が46人になるなど増え、20日には1万3944人と約3倍に増えた。地域差も大きい。一時1日の新規感染者が200人を超えたこともある。東京都では30日の新規感染者が46人になるなど増え、20日には1万3944人と約3倍に増えた。地域差も大きい。一時1日の新規感染者が200人を超えたこともある。

府に新型コロナウイルスに関する緊急提言を提出。延長する場合は他県からの人の流入を防ぐため全都道府県を対象とすることを求められそうだった。

府に新型コロナウイルスに関する緊急提言を提出。延長する場合は他県からの人の流入を防ぐため全都道府県を対象とすることを求められそうだった。

府に新型コロナウイルスに関する緊急提言を提出。延長する場合は他県からの人の流入を防ぐため全都道府県を対象とすることを求められそうだった。

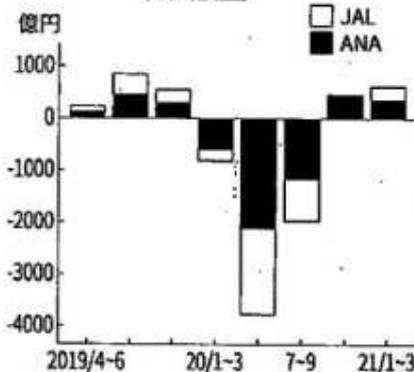
日本航空(JAL)は30日、2020年3月期の期末配当を見送ると発表し、期末無配は12年の再上場以来、初めて同日発表した20年1~3月期の連結決算は229億円の最終赤字だった。ANAホールディングス(ANA)と合わせた航空大手2社の赤字額は816億円にのぼる。旅客収入減少の長期化に備え、両社の資金調達と支出削減策に注目が集まる。

JALはこれまで55円の期末配当を予定していた。中間配当は既に実施しており、年間配当は前期から半減。これによって約200億円の支出を削減できる。ANAHDも28日、75円を予定し

# JAL、期末無配に転落

## 前期、再上場後初 1~3月最終赤字229億円

市場は一段の業績悪化を想定  
(最終損益)



(注) 20/1-3まで実績、20/4-6以降は QUICK・コンセンサス

ていた期末配当を見送るとも発表している。業績は一段と落ち込むとみている。JALが四半期ベースで最終赤字になるのは再上場後初めて。売上高が前年同期比21%減の2803億円となるなか、人件費や機材の減価償却など固定費がかさんだ。政府が緊急事態宣言を延長する方針を固めたこと

ともあり、市場は2社の業績は一段と落ち込むとみている。2社は21年3月期の業績で旅客収入が激減する一方で、固定費の負担がキャッシュフロー(CF)を圧迫する状況に対応したものだ。JALが1~3月期に事業活動から得た営業キャッシュフロー(CF)は90億円のプラスにとどまる一方、機材などへの投資CFは301億円のマイナスだった。このため資金調達で財務CFを251億円のプラスにしている。4月以降はこの資金不足の構図が深刻になり、大規模な資金調達が必要になりそうだ。ANAHDは9500億円の資金調達をま

とめる方針だ。一方、JALの菊山英樹最高財務責任者(CFO)は30日のオンライン会見で「今日までで約1000億円の調達を実施した。資金調達について特に不安はない」と説明。先行きについては「複数のシナリオを想定するなかで調達の規模には幅が出てくる」と述べるにとどめた。資金繰りを安定させるには支出削減も急務だ。ANAHDは一時帰休の対象をグループ全体の9割超まで広げて人件費を抑制する。JALは「あらゆる可能性について検討はすべきで、状況に応じて判断する」(菊山CFO)としている。

# 日電産EV軸に66%増益

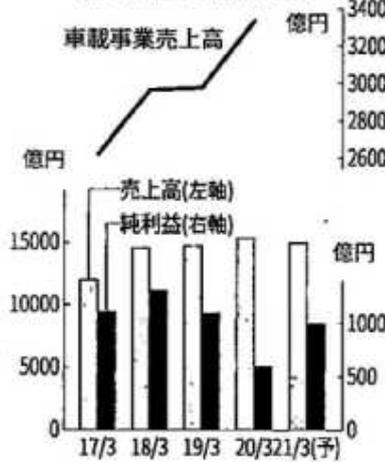
日本電産は30日、2021年3月期の連結純利益（国際会計基準）が前期比66%増の1000億円になる見通しだと発表した。電気自動車（EV）関連やハードディスク駆動装置（HDD）用モーターの受注が旺盛なためだ。今後は低迷する車載部品の回復などが課題となりそうだ。

売上高は2%減の1兆5000億円を見込む。これまで目標に掲げていた21年3月期の売上高2兆円の達成は数年先にずれ込みそうだ。純利益も市場予想平均（1198億円）を下回る。

だが今期予想を公表しない企業が多い中、日電産が開示した大幅な増益予想は「強気」な判断にみえる。永守重信会長兼

## 今期最終、モーター受注旺盛

日本電産の業績推移



最高経営責任者（CEO）に達した。永守氏は1月は新型コロナウイルスの決算説明会で「1000億影響について「少なくとも0万台になった」と明かも1年は続く」とした上で、3月期で60万台積み増した格好で、「影響が長引けば競争力のあるところが生き残る」と強調した。

また、在宅勤務や電子強気の判断を支える理由の一つが、今期から本格的に収益に貢献し始めると思われるEV用駆動モーター事業の成長も追い風だ。精密小型注見込みは1600万台

## 永守氏、コロナ「1年は続く」

に、約70億円増の140た。

工場稼働の回復も課題だ。中国では4月までほぼ新型コロナウイルス前までの水準に戻したものの、欧米などでは換装度が感染拡大前の6〜7割の水準に落ち込んでいる。

21年3月期の設備投資は5G関連などを中心とし、約70億円増の140た。

今後の課題は自動車メーカーの減産などで落ち込みが続く車載部品の回復だ。EV用駆動モーターは好調なもの、20年4〜6月期の車載分野の売上高は通常の6割程度となる見通しだ。固定費の削減や部品供給の内製化でコスト削減を進める考えで、こうした取り組みを軌道に乗せられるかも注目される。

同日発表した20年3月期の連結決算は、売上高は前の期比4%増の1兆5348億円、過去最高となった。純利益は45%減の600億円だった。

いない競合メーカから0億円、開発投資もEVの切り替え受注もあったようだ。次世代通信規格「5G」関連でもスマートフォン向けの放熱部品の需要が増えそうだ。

今後の課題は自動車メーカーの減産などで落ち込みが続く車載部品の回復だ。EV用駆動モーターは好調なもの、20年4〜6月期の車載分野の売上高は通常の6割程度となる見通しだ。固定費の削減や部品供給の内製化でコスト削減を進める考えで、こうした取り組みを軌道に乗せられるかも注目される。

いらない競合メーカから0億円、開発投資もEVの切り替え受注もあったようだ。次世代通信規格「5G」関連でもスマートフォン向けの放熱部品の需要が増えそうだ。

今後の課題は自動車メーカーの減産などで落ち込みが続く車載部品の回復だ。EV用駆動モーターは好調なもの、20年4〜6月期の車載分野の売上高は通常の6割程度となる見通しだ。固定費の削減や部品供給の内製化でコスト削減を進める考えで、こうした取り組みを軌道に乗せられるかも注目される。

日本ではバブル経済が崩壊し、銀行業の不良債権問題が深刻化した頃から、「オーバーバンキング」（銀行過剰）という用語が聞かれるようになりました。そこには「預金取扱金融機関は過剰」との批判的な意味も込められています。

何がオーバー（過剰）なのかという定義は定まっていませんが、金融機関数、店舗数や職員数、預金や貸し出しの残高などの過剰感が示唆されます。不良債権問題の渦中では、銀行等の貸し手が過剰だと貸出取引の獲得競争が激化し、様々な弊害をもたらすと考えられました。貸し出しのオーバーキャパシティが問題視されたわけです。

企業などのお金の借り手から見れば、多数の貸し手

## オーバーバンキングと寡占

が競争するのは好ましいことのようにも思えます。ですが、オーバーキャパシティである、貸出金利のダンピングが続いて銀行業の経営体力が損なわれたり、経営再建の見込みがないういゆる「ゾンビ企業」に対する追い貸しが続き、不良債権問題が終わらなかつたり、といった弊害が生じかねません。

銀行業の不良債権問題が収束に向かった2000年代半ば以降、オーバーバンキングが話題となる機会も減りました。最近では逆に、再編で地域銀行の数が減少し、地域によっては金融寡占になる恐れの方が心配されています。

地域銀行の再編は緩やかに進んでいます。17年から18年にかけて公正取引委員

会の承認を得た新潟県や長崎県の地銀統合事案では、統合後の貸し出しシェアの高まりが特に論点となり、公取委の審査が長期化しました。地域の貸し手が減って競争が低下すると、企業などの借り手に不利益が及ぶ恐れがあるためです。新潟県では7000弱の先、長崎県では2回合計で7000強の先を対象に需要者アンケートを実施し、地域金融の寡占化を巡る慎重な審査が行われました。

わが国では今後、銀行過剰ではなく銀行不足が問題となっていくのでしょうか。この連載では銀行業の競争について考えます。

すぎやま・としひろ 埼玉大学博士（経済学）。専門は金融機関経営論。

# 世界企業 守りの資金確保

## 需要蒸発に対応 過去最高水準

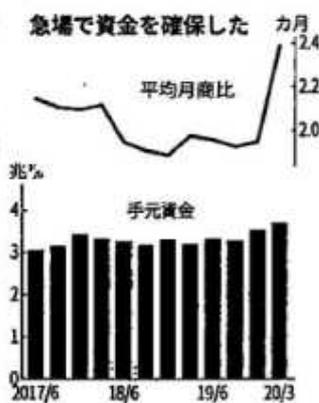
世界の企業が手元保持資金を増やしている。3月末の手元流動性（3面きょうのこと）は月商の2・4カ月分と過去最高の水準となった。新型コロナウイルスの感染拡大で経済が事実上停止し、売り上げは急減しているが、固定費の支払いなどで資金は出ていき、資金不足への危機感も強い。各国の中央銀行が例外的な金融政策に乗り出すなか、資金不足を防ぐために借り入れを通じて確保を急いでいる。

### 中銀マネーが支え

欧米では経済を再開する動きが出るが、元に戻るには時間がかかる。見方は多い。企業がさらなる資金調達を迫られる可能性が高いが、借り入れが増えることで財務の悪化は避けられない。

QUICK・ファクトセットで2020年1〜3月の平均月商の2・4カ月分増えた。0・4カ月分増えた。5500社を統計した。3月末の手元資金は3兆7000億（約390兆円）と1年前に比べ

15%増えた。1〜3月の平均月商の2・4カ月分増えた。0・4カ月分増えた。5500社を統計した。3月末の手元資金は3兆7000億（約390兆円）と1年前に比べ増え、自己資本を上回った。リーマン危機時にもなかった状態だが、市場は「信用リスクが意識される局面では管理される」（東京海上アセットマネジメントの植爪幸治氏）とみている。米コカ・コーラは1〜3月に80億ドルを調達、手元資金を176億ドルと57億ドル増やした。4月以降も「進行中のものを除きすべての設備投資を一時停止」（ジョン・マーフィー最高財務責任者）して、流動性を高く保つ



業種別では世界中にサブライチーンをひびかせている自動車（2・6カ月分）と機械（2・9カ月分）が0・8カ月分増やした。一方で空運は0・4カ月増えたが、2・2カ月分にとどまる。

企業の調達を支えるのは、中銀の金融緩和だ。米連邦準備理事会（FRB）は3月からコモディティ・ブレイバー（CPI）の買い取りに乗り出した。4月からは社債の買い取りも始め、低格付け債を求めて発行市場と流通市

場で総額7500億ドルの買い入れ枠を設定した。企業は資金調達しやすくなり、4月にはボーイングが総額250億ドル、デルタ航空が35億ドルの社債を発行した。米企業の4月の社債発行額は2294億ドルと月間で最高となり、今後企業の手元資金がさらに膨らむ可能性もある。中銀から企業に資金が供給されても、新型コロナウイルスの感染が収束し、雇用の回復が見込まれる。3年くらい見ておく必要がある」（J.P.モルガン・アセット・マネジメントの重見吉徳氏）との見方もある。

高いほど支払いに余力  
▽：現預金やすぐに市場で売却できる有価証券など、企業が急な支払いなどに充てることのできる資金。企業に余裕があることを示す。  
△：必要以上に資金を持つことは、経営の効率性が下がることにもつながる。2008年の金融危機以降、日本企業は総じて手元流動性を高めてきた。平時と有事では適切な手元流動性に違いがある。企業は「経営課題を乗り越えるかの局面で、資金をため込むのも仕方がない」（大和証券の盛谷洋和氏）面もある。

### 手元流動性

手元流動性は高まっている（世界企業のバランスシート）

項目	金額	前年比
手元流動性	3.68兆円	(15.5%)
買掛金	2.69兆円	(▲8.1)
有利子負債	11.47兆円	(9.8)
自己資本	11.21兆円	(▲0.1)
現金	2.78兆円	(0.6)
売掛金	3.65兆円	(▲1.4)
その他	7.76兆円	(3.3)
その他	23.01兆円	(2.5)

(注) QUICK・ファクトセットより金融機関を除く世界の上場企業5500社を統計。カッコ内は増減率。19年3月末との比較。▲は減少



# ディズニー 5400人一時帰休

両施設は2月29日以降、臨時休園している。オリエンタルランドは、今月18日以降、約5400人の社員らを対象に、月4回を休業日として、賃金の一部を支払う一時帰休を実施する。3月から役員報酬の自主返納を行っており、状況に応じて、さらに減額幅を増やすことも検討している。

## 緊急事態延長受け

### 臨時休園を延長

オリエンタルランドは8日、千葉県浦安市の「東京ディズニーランド」と「東京ディズニーシー」の臨時休園を延長すると発表した。5月中旬に再開時期を判断するとしていたが、緊急事態宣言の期限が延長されたため、自治体の休業要請が解除された時点で判断するという。

# 21年度新卒入社

## ANA採用を一時中断

ANAグループは8日、新型コロナウイルスの感染拡大で今後の事業計画が見通せないことから、2021年度入社の新卒採用活動を一時中断すると発表した。全日本空輸などグループ

パイロットなど一部職種は除外

プ37社で3200人程度の募集を行っていたが、活動の再開時期や採用予定数を見直すかは、今後の動向を見極めながら検討する。客室乗務員や地上職、国内各地の空港で働く社員な

どが対象で、養成に期間がかかるパイロットなど一部職種は採用活動を継続する。20年度にはグループで3686人が入社した。3月から学生からの採用受け付けを開始した全日本空輸は、既に書類選考の合格者を発表し、6月から面接を開始する予定だった。

## ANA一時金半減を提示

全日本空輸は8日、2020年度の一般社員の夏季一時金を半減させる方針を労働組合に提示した。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で経営状況が悪化しており、人件費を削減して手元資金を手厚くする。全

# 東京ゲームショー 開催中止

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、日本最大のゲーム展示会「東京ゲームショー」は、9月に予定していた幕張メッセ（千葉市）での開催が中止されることになった。今後はオンラインでの開催を検討する。

主催するコンピュータエンターテインメント協会が8日に発表した。展示会が中止になるのは1996年に始まってから初めて。理由について、「感染が世界規模で広がり、日本国内でも予断を許さない。来場者、関係者の健康・安全を第一に考慮した」としている。

東京ゲームショーは、米国の「E3」、ドイツの「ゲームズコム」と並ぶ世界3大ゲーム展示会の一つで、2019年には約26万2000人が来場した。

オンライン実施検討

日空は例年、月例賃金の2か月分の夏季一時金を支給していたが、今回は1か月分としたい考えだ。一時金の減額が決まれば、リーマン・ショックによる需要減の影響を受けた10年度以来の円の人件費削減を見込む。

となる。非組合員である管理職は一時金を半減し、役員は賞与を返上する。

ANAグループの他社も一時金の減額を行う方針で、グループ全体で約70億



# IT各社「脱ハンコ」促す

クラウド

## NEC系 電子署名サービス GMO 銀行で印鑑不要に

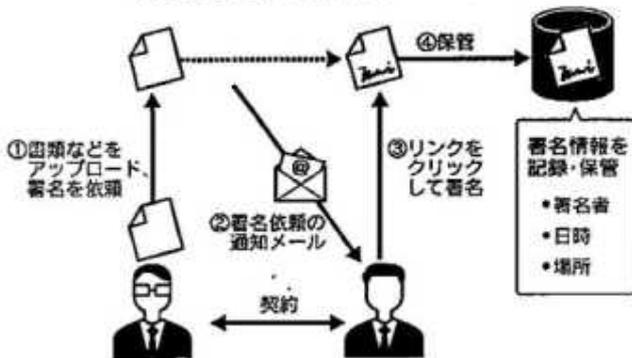
取引先との契約のためにハンコをやめられないという声も多いドキュサイン。国内の商取引で法的に印鑑が必要な場面は限られるが企業の社内ルールなどが脱ハンコを阻む主な要因とされる。NECネットはこうした社内規定の見直しやネットワークの環境整備といったノウハウも提供する。電子署名関連で22年までに10億円の売上高を目指す。

国内企業でもIT各社を中心に「脱ハンコ」は進む。GMOインターネットグループは、4月からネット銀行などのグループ会社が提供するサービス

新型コロナウイルスの影響でテレワークへの移行が進むなか、出社を余儀なくされるハンコやファックスの利用を減らそうとする動きが広がっている。NEC系が米電子署名大手のサービスを提供し始めるほか、社内外の手続きでハンコを廃止する企業が増えている。テレワークの「脱ハンコ」ともされる問題の解消が進みそうだ。

NECのシステム開発子会社、NECネットエスアイ(東京・文京)は米ドキュサインが手掛ける電子署名サービスの提供を5月から始める。取引先との契約書や、社内

電子署名のクラウド(ドキュサインなど)



ビジネス上で印鑑による手続を不要とした。取引先との契約も紙を廃止して電子署名サービスなど電子契約に切り替える。電子署名サービスなどを手掛ける傘下のGMO

クラウドは4月以降、自社サービスの一部を無償化している。フリマアプリのメルカリはグループ内の社内承認などは電子化していたが、社外に対しても押印を原則廃止し署名や電子署名に切り替えると発表された。取引先との契約書になつ印するために出社する社員の感染リスクを抑える。LINEも5月から法律で必要な場合を除き、原則書面での契約を廃止した。政府内でも安倍晋三首相の指示に基づき、行政手続きで必要な書類や押印といった慣行の簡素化を規制改革推進会議が議論している。

電子契約などへの切り替え要請に対し、自衛隊などで応じる事例も出てきたが、「社内で電子化

の手続きが認められない」などとして、引き続き紙への押印を求められるケースも多いという。ハンコとならび、テレワークの課題とされるのがファックスだ。コニカミノーラタキエ下のコニカミノルタジャパン(東京・港)は、自社の複合機のファックスを社外から送受信できるサービスが無償提供した。

がファックスだ。コニカミノーラタキエ下のコニカミノルタジャパン(東京・港)は、自社の複合機のファックスを社外から送受信できるサービスが無償提供した。複合機に無いファックスを個人のパソコンやスマートフォンで確認できるほか、取引先とのファックスへの送付も可能だ。

# 一目均衡

証券部次長 川上 穂

2/11

## コロナが招く企業の寡占化

新型コロナウイルスの感染拡大は、世界経済をかつてないスピードで収縮させた。政府が主導する経済活動の自粛で「今までそこにあった需要」は強制的に奪われ、世界の多くの企業が存亡の瀬戸際に立たされた。長短のリスクマネーを呼び込み、企業の成長を促してきた資本市場も深刻な打撃を受けている。

「先行き不透明感が長く残るといって、今回の危機はリーマン・ショックを上回るだろう」。ゴールドマン・サックス日本法人の持田昌典社長は、景気の長期低迷に身構え、2008年当時は過剰な負債を背負い込んだ金融機関（ウォール街）に問題の根があった。今回の危機は実体経済（メインストリート）を直撃した。今回の危機は実体経済（メインストリート）を直撃した。今回の危機は実体経済（メインストリート）を直撃した。

2008年当時は過剰な負債を背負い込んだ金融機関（ウォール街）に問題の根があった。今回の危機は実体経済（メインストリート）を直撃した。今回の危機は実体経済（メインストリート）を直撃した。

技術革新のスピードが速いライバルを出し抜いた企業は相手の陣地を奪い、需要が同業者は断言する。

米企業の買収をもくろむ。欧州連合（EU）が域外からの企業買収に対する規制を強化するのは警戒心の表れだ。

アフターコロナで企業の寡占化がテーマになるとすれば日本企業の立ち位置はどうか。手元資金を厚めに持ち、財務が堅固な日本企業は相対的に優位な立場にある。だが手厚い資本で嵐が過ぎ去るのを待つだけだとしたら危うい。

「世界的に深刻な景気後退をもたらす。救いを求める企業の裾野は限りなく広がる。そうならば、需要の奪い合いがより激しくなるのは必至だ。踏んばる企業と、水面下に沈む企業がくっきりと区別されることになる。その結果、さまざまな市場で企業の寡占化が進む可能性が高い。」

勝者と敗者の明暗が分かれてくる。例えば自動運転の分野では米ウェイモが3月、投資ファンドなどから約2400億円を調達して事業拡大の布石を打った。

陣取りの動きは国際的にも水面下で起きている。注目すべきは、先端技術の奪取に野心を示す中国企業。コロナ禍でも比較的余力のある中国企業は、株安で時価が減った欧

縮む中でも残存者利益を得られる。寡占化を進めるほどその利益は拡大する。

アサヒグループホールディングスは6月、ビール世界最

対照的なのが財務基盤で見劣りする米ズークスだ。4月、外出規制で公道での走行実験を担当する約120人を解雇

対照的なのが財務基盤で見劣りする米ズークスだ。4月、外出規制で公道での走行実験を担当する約120人を解雇

対照的なのが財務基盤で見劣りする米ズークスだ。4月、外出規制で公道での走行実験を担当する約120人を解雇

対照的なのが財務基盤で見劣りする米ズークスだ。4月、外出規制で公道での走行実験を担当する約120人を解雇

対照的なのが財務基盤で見劣りする米ズークスだ。4月、外出規制で公道での走行実験を担当する約120人を解雇

# 融資相談5倍 新規客多く

新型コロナウイルスの感染収束が見通せないなか、経営悪化に悩む事業者の資金需要が一段と高まっている。地域金融を担う信用金庫への融資相談は急増している。地元融資を掲げる信金は地域経済をどう支えるのか。信金として全国有数の預金残高を持つ城南信用金庫(東京・品川)の川本恭治理事長に最近の状況や経営方針を聞いた。

— 感染拡大でどのような影響が出ていますか。

「融資の相談は直近1カ月で1万件超で、平常時の5倍だ。新規顧客が多いのが特徴だ。今まで

## 資本・信用、今こそ活用

## 収束後見据えた対策も



川本 恭治氏

城南信用金庫理事長

借り入れをしてこなかったり、家賃を払うために早急に資金が必要になったりした事業者が多い。他の金融機関に断られて相談に来る事業者もいる。支店によっては普段なら1カ月に2〜3件の新規申し込みが約100件来ている」

— どう対応していますか。

「経営状況を把握できている既存顧客はもちろんだが、新規の融資申し込みも地元で一生懸命やっていた事業者には迅速に対応している。もちろん最低限の調査はする。以前から経営が厳しい事業者の相談には慎重に対応している」

「今は国家的な危機だ。信用コストがかさんだとしても、当金庫は自己資本比率9・6%と厚い蓄えがある。株などは購入していないため、現在の市況低迷の直接的な影響もない。若くてきた資本や信用を今こそ使うべきだと考えている」

— 地域経済を支えるために必要なことは何でしょうか。

「早期の感染収束に向けた対策はもちろんだ

## コロナ危機 地方揺らぐ

インタビュー編

どうしていますか。

「感染リスクを下げるため、各職場を班に分けて交互に出動させている。また検温する電車を避けるため、禁止していた自転車やバイクの通勤を認めた。職場の意見を常に報告させており、多くの人と対面する窓口職員の不安を和らげるため、窓口にアクリルボードを設置した。体温計も順次配備している」

「自宅でも顧客の相談

が、収束後の手も今のうちに打つべきだ。事業者は借金がどんどん増えている状況で、感染が収束しても景気の回復が緩やかだと徐々に倒産してしまうだろう。すでに廃業を検討している飲食業やサービス業の顧客もいる。一気に景気を回復させることが必要だ」

「融資で資金をつないでもらい、我々はその間に仕事の創出につながる仕掛けをしていく。一つは大手企業と連携した受注支援だ。4月には大手と地元の中製造業を繋げた商談会を開いた。2回目以降もやりたい。最近持ち帰りや宅配を始める飲食店が増えたり、地域に広く情報発信する支援も検討している」

— 職場の感染対策は

対応や融資の申込書作成などは個人情報の漏洩防止から内線で強い規制を設けているが、今回の事態の変化につながる点が多いこと」

「聞き手は杉本耕太郎」